

ランドデザイン実現委員会 年間事業計画

<p>室 委員会 委員長 副委員長 委員</p>	<p>ランドデザイン実現委員会 藤塚 茂之 太田 佳祐 恒本 浩志 安田 洋一</p>	<p>基本方針</p> <p>地域住民が当事者意識を持ち故郷を愛する心を育むことで、住民が主役のまちづくりを推進すると共に、新たな運動の方向性を示す。</p>
--	---	---

委員長方針

本年度は、最重点事業指針「真の民主主義地域社会の確立～自律と共助で創造する西美濃の未来～」に基づき、西美濃地域の行政、諸団体と連携し、住民が主役のまちづくりを更に推進していくために、地域住民が当事者意識を持ち故郷を愛する心を育むことができる事業を展開したいと考えます。当事者意識を持つためには、この地域に住む人々や地域の魅力に触れることが大切であると考えます。この地域の主役であるという当事者意識が芽生えれば、私達責任世代に故郷を愛する心が育まれると共に、次世代を担う子どもたちにとっても、そのような経験を積むことが良い思い出となり、将来、当事者意識と故郷を愛する心を持った責任世代へ成長していくことにも繋がると考えます。また、2010年代も終盤に差し掛かる中で、これまでの最重点事業を振り返り、今後、どのような活動をしていくべきかを検証し、2020年代の新たな運動の方向性を示していきたいと考えています。

<事業計画及び予算(案)>

1. 事業名 4月度例会の企画・運営

目的 住民が主役のまちづくりを推進するために、この地域に住む人々が共に助け合うことの大切さを考えることで、当事者意識を育む。

予定と方法 (1) 4月
(2) 種別: 公益事業
(3) 最重点事業目的該当項目: 主体者の育成と住民の積極的な社会参画に向けた取り組み

	<支出の部>	<収入の部>	
予 算	事業費 1,700,000	一般会計 200,000	
		登録料収入 1,500,000	
	合計 1,700,000	合計 1,700,000	

2. 事業名 7月度例会の企画・運営

目的 地域住民が地域の魅力や地域の人々と触れ合うことで故郷を愛する心を育む。

予定と方法 (1) 7月
(2) 種別: 公益事業
(3) 最重点事業目的該当項目: 西美濃の歴史・財産を知り、誇りと郷土愛の育成に向けた取り組み

	<支出の部>	<収入の部>	
予 算	事業費 800,000	一般会計 800,000	
	合計 800,000	合計 800,000	

3. 事業名 最重点事業の推進

目的 これまでの最重点事業を振り返り、検証することで、新たな運動の方向性を示す。

予定と方法 (1) 報告書の作成と配布、及び意見集約
(2) その他

4. 事業名 各委員会との連携

予定と方法 (1) その他

西美濃連携推進委員会 年間事業計画

室 委員会	西美濃連携室 西美濃連携推進委員会		基本方針(案)
委員長	寸田 就雅		利他の精神に基づき諸団体と連携を図り、「真の西美濃連携」を推進し、西美濃の魅力を発信し住民主体のまちづくりに寄与する。
副委員長	伊藤 友輔	・ 西本 匡良	
	春山 大樹		
委員	伊藤 聡	・ 神村 卓也	
	所 基晋	・ 毛利 茂晴	

委員長方針(案)

我々の身体、大自然、そして地球も様々な役割を担うものが存在し、それが互いに自立的に機能し、時には補完し調和し、1つの生命体として存続しています。それは、西美濃地域においても同様であり、我々一人ひとりが役割を全うし、手を携え支え合うのが本来備わったあるべき姿です。多くの形式的連携がある中、我々は利他の精神に基づき、見返りを求めない布施の実践にて連携を進めます。我々一人ひとりが己を律する心を持ち、己の執着から離れ、施し手に率先してなることにより、より多くの人々を本来備わっているあるべき姿へ導き、人々が支え合う「真の西美濃連携」を推進します。そして、西美濃の魅力を自らが源となり発信し、活気ある当事者意識を持った住民主体のまちづくりへ繋がります。

<事業計画及び予算(案)>

1. 事業名 9月度例会の企画・運営

目的 共に参加・協力することにより、諸団体と力を出し合い手を携え、真の西美濃連携を推進することで西美濃の魅力発信に寄与する。

予定と方法 (1) 9月
(2) ツール・ド・西美濃2018への参加・協力
(3) 種別・その他の事業

予 算	<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	10,000	一般会計	10,000
	合計	10,000	合計	10,000
2. 事業名 真の西美濃連携及び情報発信による地域活性化に向けた事業

目的 主体的な参画により諸団体と連携を進め、西美濃の魅力発信に寄与する。

予定と方法 (1) ツール・ド・西美濃実行委員会との連携
(2) ツール・ド・西美濃実行委員会及び本部会への参画
(3) その他
3. 事業名 真の民主主義社会の推進に関する事業

目的 住民一人ひとりが当事者意識を持った住民主体の社会参画に寄与する。

予定と方法 (1) 岐阜ブロック協議会との連携
(2) 選挙啓発の推進
(3) その他
4. 事業名 各委員会との連携

予定と方法 (1) その他

人財開発委員会年間事業計画(案)

室 委員会	LOM創造室 人財開発委員会	基本方針(案)
委員長 副委員長 委員	日比野 豪 上田 宗輝 伊藤 裕一朗 筒浦 広幸	
	・ 長野 匠吾 ・ 高田 晃裕 ・ 中村 紘平	

委員長方針(案)

大垣青年会議所は67年目を迎えるにあたり、近年の会員減少という課題に直面しています。個々の活動範囲には限界があり、会員が減少すると発信力の低下など様々なことが危惧されます。しかし、我々はこれまでの活動に劣らぬよう「明るい豊かな社会の実現」を目指し、活動し続けねばなりません。

そのためには、次代の西美濃をそしてそれぞれの企業を担うものとして、課題解決に向け、熱い想いをもち立ち向かうための意識改革が求められます。また、その熱い想いを、この地域を良くしたいという志を持つ人に伝播することでより効果を発揮します。

新入会員の指導においては、大垣青年会議所に連綿と受け継がれてきた創始の想いと伝統を伝えることにより、入会2年目以降、高い志と品格を兼ね備え、この会の中心として活躍できるJAYCEEになるよう指導します。

＜事業計画及び予算(案)＞

1. 事業名 6月度例会の企画・運営

目的 高い志と熱い想いを持つために意識改革する機会とする。

予定と方法 (1) 6月
(2) 種別・公益事業
(3) 最重点事業目的該当項目：豊かな個性と多様性ある成長に向けた取組み

予 算	＜支出の部＞		＜収入の部＞	
	事業費	2,550,000	一般会計	600,000
	登録料収入		1,950,000	
	合計	2,550,000	合計	2,550,000

2. 事業名 新入会員の指導

目的 新入会員が、青年会議所運動を理解し、JAYCEEとしての自覚と責任を持って、今後の青年会議所活動に参画できる人財となるよう指導する。

予定と方法 (1) 1月～12月
(2) 新入会員研修の実施 (4回)
(3) 理事会へのオブザーブ出席
(4) 3分間スピーチの実施
(5) 岐阜ブロックアカデミー2018への参加
(6) その他

予 算	＜支出の部＞		＜収入の部＞	
	事業費	80,000	一般会計	80,000
	合計	80,000	合計	80,000

3. 事業名 新入会員による交流会の企画・運営に対する指導

目的 一年間の活動を通じて学んだ成果を発揮した交流会を一丸となって目指す中で、今後の青年会議所活動の礎となるよう指導する。

予定と方法 (1) 6月～12月
(2) 新入会員による交流会の企画・運営に対する指導
(3) 議案作成、上程セミナー実施
(4) 模擬常任理事会、模擬理事会の実施
(5) 事業実施準備まで及び事業報告までの指導

4. 事業名 各委員会との連携

予定と方法 (1) その他

会員拡大委員会 年間事業計画(案)

室名	LOM創造室	
委員会	会員拡大委員会	
委員長	竹村 公作	
副委員長	野田 正興	・ 近藤 真司
委員	上田 崇宏	

基本方針(案)
大垣青年会議所の魅力を熱意ある行動力によって伝え、同志を募り、育成することで個と組織の成長に繋げる。

委員長方針(案)

大垣青年会議所にとって、会員が年々減少している今、このままの流れでは事業規模の縮小等に繋がる大きな問題を抱えていると感じております。
 そして、この問題を解決するには、全会員が様々な伝手を使い、過去の候補者リストにない人財を含め、より多くの候補者情報を収集し、候補者に合った大垣青年会議所の魅力を熱意を持って伝え、新たな同志を募り、育成しなければなりません。
 そのような新たな会員拡大を通じて、魅力を熱意を持って伝えられる人財となることで、会員の成長が図れ、充実した企業活動へと好循環を生み出していくことができれば、更なる同志の拡大へと繋がっていくと考えます。
 多くの同志と大垣青年会議所の魅力を共有し、青年会議所運動を展開することが組織の成長となり、西美濃地域の更なる発展へと繋がっていくと確信しています。

<事業計画及び予算(案)>

1. 事業名 5月度例会の企画・運営
 - 目的 大垣青年会議所メンバーとして、青年経済人として品格と技量を兼ね備えた魅力溢れる人材育成の場とすることで、会員の成長と募集に繋げる。
 - 予定と方法 (1) 5月
(2) 種別・その他の事業
 - 予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	200,000	一般会計	200,000
合計	200,000	合計	200,000

2. 事業名 正会員及び賛助会員の募集
 - 目的 全会員で大垣青年会議所の魅力を熱意と行動力で伝え、個と組織の成長を図る。
 - 予定と方法 (1) 正会員の募集(1月～7月)
(2) 賛助会員の募集(1月～12月、随時)
(3) 正会員及び賛助会員の募集の窓口
(4) 会員拡大全体会議及び異業種交流会の開催(1月・6月・7月)
(5) 候補者の事業オブザーブ参加(3月～7月)
(6) 各委員会広報資料への会員募集の掲載
(7) ホームページへの会員募集の掲載
(8) チラシの作成
(9) 正会員及び賛助会員の候補者の情報収集と集約(1月～12月)
(10) 11月度例会の支援
(11) 種別・その他の事業
 - 予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	100,000	一般会計	100,000
合計	100,000	合計	100,000

3.	事業名	新入会員予定者及び賛助会員予定者の指導及び資格審査	
	目的	大垣青年会議所の理念を十分に伝え、会員として能動的な活動ができる人材となるよう指導し、適性を審査する。	
	予定と方法	(1) 7月～12月 (2) 新入会員予定者の資格審査(5月、7月) (3) 新入会員予定者オリエンテーションの開催(5月、7月) (4) 新入会員予定者の参加対象事業への参加推進及び指導(8月～12月) (5) 賛助会員予定者の指導(随時) (6) 新入会員予定者及び賛助会員予定者の最終適正審査(12月) (7) 新年互礼会に向けた指導 (8) 種別・その他の事業	
	予算	<支出の部>	<収入の部>
		事業費	一般会計
		20,000	20,000
		合計	合計
		20,000	20,000

4.	事業名	各委員会との連携
	予定と方法	(1) その他

渉外委員会 年間事業計画(案)

室	情報交流室
委員会	渉外委員会
委員長	中村 慎治
副委員長	遠藤 功博
委員	加藤 卓俊
	水谷 孔輔
	・ 平野 敬司

基本方針(案)
事業の目的や意義を共有し、魅力を感じてもらうことで積極的な参加を促し会員の成長に繋げる。

委員長方針(案)

大垣青年会議所は多くの先達が使命感と情熱を持って「明るい豊かな社会の実現」を求め活動してきた66年の歴史の先に存在しています。しかし、会員の減少に歯止めがかからない中、この歴史ある大垣青年会議所の伝統を次代へ繋ぎ活動していくためには会員一人ひとりが資質を向上させ成長していかなければなりません。本年度においても青年会議所の目的を共有し伝統を受け継ぐと共に、出向者との連携を密に行うことで迅速に各事業の情報を収集し、目的や意義を丁寧に伝えることで事業の魅力を感じて頂きます。そして多くの修練を経て成長した出向者を間近で見る機会が増えることで、会員が能動的に今後のJC活動へ新たな一歩を踏み出す勇気を持つことができると考えます。また、国際感覚を身に付け幅広い見識を深めることで新しい発想を持つ人財へと成長でき、日本人としての誇りを持つことが日本を、そしてこの地域を愛する心「地域愛」の醸成に繋がります。大垣青年会議所の伝統と「地域愛」をもって、自ら挑戦していく人財になって頂けるよう活動していきます。

<事業計画及び予算(案)>

- 事業名 2月度例会の企画・運営

目的 青年会議所の目的を再認識し共有することで、今後のJC活動へ繋げ個々の学びや成長の礎とする。

予定と方法 (1) 2月
(2) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	75,000	一般会計	75,000
合計	75,000	合計	75,000
- 事業名 12月度例会の企画・運営

目的 卒業生を讃え祝福すると共に、伝統を受け継ぐ場とする。

予定と方法 (1) 12月
(2) 卒業式
(3) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	100,000	一般会計	100,000
合計	100,000	合計	100,000
- 事業名 JCI, 日本JC及び対外交流事業の窓口及び参加推進

目的 JCI, 日本JC等の事業の趣旨を伝え参加を推進することで、会員の成長を図る。

予定と方法 (1) 日本JC 京都会議(1月) 京都
(2) 岐阜BC 公式訪問(2月) 岐阜
(3) 日本JC 金沢会議(2月) 金沢
(4) JCI ASPAC(5月) 鹿児島
(5) 日本JC サマーコンファレンス(7月) 横浜
(6) 東海DC 東海フォーラム(7月) 三重
(7) 岐阜BC 岐阜ブロック大会(8月) 瑞浪
(8) 日本JC 全国大会(10月) 宮崎
(9) JCI JCI世界会議(10月・11月) ゴア
(10) 岐阜BC 第56回岐阜ブロック野球大会(10月) 下呂
(11) 岐阜BC 第52回岐阜ブロックじゃがいも大会(6月) 美濃加茂
(12) 岐阜BC 第22回岐阜ブロックサッカー大会(10月) 羽島
(13) その他
- 事業名 花蓮JCとの交流に関する事業

目的 花蓮JCとの交流を通じて友好と国際理解を深め会員の成長を図る。

予定と方法 (1) 花蓮JCとの交流の窓口
- 事業名 趣味の会の窓口

- | | |
|----------|----------------------------------|
| 目 的 | 趣味の会により交流の機会を増やすことで、会員同士の友情を深める。 |
| 予定と方法 | (1) 趣味の会の募集・登録窓口 |
| 6. 事 業 名 | 各委員会との連携 |
| 予定と方法 | (1) その他 |

総務委員会 年間事業計画(案)

室 委員会		- 総務委員会		基本方針(案)	
委員長	澤頭 典男			全会員がJAYCEEであることに誇りを感じ、JC活動に集中して臨めるように、正確かつ円滑な組織運営を行う。	
副委員長	富田 一登		・ 星野 恵里		
委員	岡田 源司 杉江 拓弥		・ 川瀬 英三朗 ・ 高山 悠一		

委員長方針(案)

今、大垣青年会議所が地域から必要とされ、日々活動できているのは設立以来、長きに渡りこの組織を守ってこられた多くの先達の使命感と情熱が受け継がれているからです。しかし、67年目を迎える今、会員減少や事業の多様化により、組織運営の厳しさが増しており、現状を改善するためには互いに信頼関係を築き、連携を深め、能動的に活動する必要があります。今の我々に求められるものは事業一つひとつに対して情熱を持ち、JAYCEEであることに誇りを感じながら取り組むことです。全会員が日々の活動の成果を最大限発揮できるように、正確かつ円滑な組織運営を行い、大垣青年会議所の伝統を次世代へ繋げていきます。

<事業計画及び予算(案)>

1. 事業名 1月度例会の企画・運営

目的 新年度の決意と方向性を強く発信し、JCの魅力と可能性を再認識することで、活動への意欲を奮い立たせる場とする。

予定と方法 (1) 1月
(2) 新年互礼会
(3) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	65,000	一般会計	65,000
合計	65,000	合計	65,000
2. 事業名 基本資料・定款及び会員名簿の作成と管理に関する事業

目的 2018年度の大垣青年会議所の情報を資料としてまとめることにより、正確かつ円滑な活動の一助とする。

予定と方法 (1) 基本資料の作成・会員名簿の作成
(2) 定款及び運営規則の管理
(3) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	480,000	一般会計	480,000
合計	480,000	合計	480,000
3. 事業名 情報管理のための事業

目的 活動記録を管理することで、大垣青年会議所の歩みを次世代へ繋げる。

予定と方法 (1) 各事業記録の整理・保管
(2) 各事業写真の保管
(3) 議案書の保管
(4) 事業活動アルバム(DVD)の作成及び関連記事の整理
(5) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	2,000	一般会計	2,000
合計	2,000	合計	2,000
4. 事業名 通常総会及び臨時総会の設営・運営

目的 正確かつ円滑に総会の運営を行う。

予定と方法 (1) 通常総会(1月)及び臨時総会の設営・運営
(2) 議事録の作成
5. 事業名 理事会運営に関する事業

- 目 的 各委員会との連絡を密に行い、正確かつ円滑な理事会の運営を行う。
- 予定と方法 (1) 理事会の準備及び設営
(2) 議事録の作成
(3) 理事会資料の配信
(4) マニュアルに基づく議案上程の周知
6. 事業名 大垣青年会議所の運営全般に関する事業
- 目 的 会員がJC活動に集中できるように、正確かつ円滑な組織運営を行う。
- 予定と方法 (1) 例会及び事業等の配布物準備
(2) 各事業及び各委員会の出欠席の管理
(3) 事務局の管理・運営
(4) 弔事に関する運営
(5) 定款・運営規則等の規程の精査・改正
(6) メーリングリストの構築・管理
(7) 情報公開に関する管理
(8) その他
7. 事業名 公益法人格制度に関する運営・手続
- 目 的 公益法人格の意義を深く理解し、正確かつ円滑な運営を行う。
- 予定と方法 (1) 公益法人格取得団体としての運営・手続
8. 事業名 財務管理に関する事業
- 目 的 正確な財務管理、資産管理を行い、円滑な組織運営の一助とする。
- 予定と方法 (1) 一般会計、基金会計、特別会計の管理
(2) 基金運用計画に基づく資金管理
(3) 予算立案に伴う業務
(4) 予算、決算及び各事業の変更に伴う業務
(5) 中間決算及び年度末決算
(6) 預り金の管理
9. 事業名 各委員会との連携
- 予定と方法 (1) その他